

利府高校は、文武両道を目指し、さわやかな挨拶、明るい活力ある校風づくりに励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は8名、多くの部活動がインターハイ等の全国大会に出場し、活躍しました。では、学習・部活動等の説明を通して利府高校を紹介します。

1. 教育課程・学習内容

○全日制・単位制

普通科：男女共学1学年5クラス編成（200名）

スポーツ科学科：男女共学1学年2クラス編成（80名）

○普通科・スポーツ科学科ともに単位制を採用し多くの選択科目を開設しています。国公立大学進学を含め様々な進路希望に対応できる教育課程になっています。

○スポーツ科学科においては、全員が運動部に所属し、体育の専門科目を学びます。

単に競技力の向上や全国大会を目指すだけではなく、現在進む高齢社会で求められている新しい体育指導員（スポーツアドバイザー・スポーツカウンセラー）の育成も目標のひとつであり、スポーツ医学等の科目も開設しています。普通教科も充実しており体育系大学はもちろん、文系・理系の大学へも多くの生徒が進学しています。

○総合学習では、体験学習（上級学校訪問、職場体験）、小論文指導等で1年次から進路実現に向けた取り組みをしています。

2. 学校行事及び部活動

校内体育大会・利府高祭などの学校行事は、生徒会執行部を中心に運営されており、全生徒一丸となって取り組んでいます。部活動においては、指導者のもと生徒たちは熱心に活動し、すばらしい成績をおさめています。中でも野球部が選抜甲子園大会でベスト4進出を果たし、フェンシング部の全国選抜大会ベスト8、陸上競技部のインターハイ上位入賞・全国高校駅伝大会出場、サッカー部の全国高校サッカー選手権大会2年連続出場をはじめ、ハンドボール部、卓球部、水泳部、弓道部、ソフトボール部、硬式テニス部、ソフトテニス部が全国大会出場の経験があります。他にも剣道部、バレーボール部、ラグビー部も東北大会の出場経験をもっています。また、文化部では吹奏楽部の全国大会への出場、美術部の全国高総文祭への出展、そして演劇部の県コンクールでの上位入賞など活躍しています。

3. 卒業生の進路

スポーツ科学科、普通科とも大学・短大への進学者が全体の約6割を占め、大学進学率は年々上昇しています。

○主な進学先（過去3年間）

宇都宮大学、福島大学、秋田大学、岩手大学、山形大学、都留文科大学、宮城大学、岩手県立大学、早稲田大学、東京理科大学、中央大学、立教大学、法政大学、青山学院大学、駒澤大学、神奈川大学、順天堂大学、日本体育大学、日本女子体育大学、東北学院大学、東北薬科大学、宮城学院女子大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北文化学園大学、東北福祉大学、東北工業大学、尚絅学院大学 他

※志望する中学生へ

「文武」両面で自分の目標を明確に持ち、努力を惜しまない生徒一人ひとりを応援する学校、それが利府高校です。学習や部活動、生徒会活動などに一生懸命に取り組める人は誰でも歓迎します。

→ <ホームページはこちら> <http://rifu-h.myswan.ne.jp>

□ 鹿島台商業高等学校

| <特色あるキャリア教育推進校，課題解決する力を身に付けさせる
| 「起業家教育」>

本校は，大崎地域で唯一の商業高等学校です。平成19年度より県教委から「個性かがやく高校づくり」及び平成22年度より「魅力ある県立高校づくり支援事業」の研究指定を受け，キャリア教育の推進に力を入れています。

その特色の一つとして，課題を解決する力を身に付けることを目的として，「起業家教育」を実施しています。その内容は，①大学，行政，民間企業と連携した「キャリア教育推進協議会」を設置し，地域からの指導・助言を受けること。②外部講師による「起業家教育プログラム」・「ビジネスマナー講座」などの特色ある授業づくりに努めること。③宮城大学の学生チューターによるグループワークへの参加。④大崎市に関するミッション（使命）に則した課題解決学習について，成果を発表する「学習成果発表会」があります。

それ以外に，地域貢献を目指して「鹿島台生活互市」などのイベント参加や，地域ボランティアとして，JR 駅長小さな旅「鹿島台互市ツアー」を企画し，おもてなし活動を行っています。

本校の特色のある取り組みについての詳細は，ホームページをご覧ください。

→ <ホームページはこちら> <http://www.kasimadai-ch.myswan.ne.jp>

□ 石巻市立女子高等学校

| <公立唯一の普通科2コース制女子校で，未来地図を描こう！>

本校は大正14年に石巻実業女学校として創立され，今年で86周年を迎えた伝統のある公立高校で，県内でも数少ない女子高校です。桜・つつじの花で有名な石巻市の名勝地，日和山の中腹にあって，校舎からは太平洋が一望でき，大変自然環境に恵まれた所に位置しています。また，石巻市立図書館，石巻市総合体育館，石巻市中央公民館等の公共施設もすぐ近くにあります。

「清新で魅力ある学校づくり」を目指し，平成22年度に人文コース，生活コースの2コース制へ移行しました。文系4年制大学，家政・保育系大学，高等看護学校，専門学校等への進学や就職など，生徒の多様な進路希望に対応した選択科目を設定し，目標達成に向け集中して学習に取り組むことができます。

主な学校行事は，球技大会・文化祭・音楽祭・修学旅行などがあります。これらの行事に生徒達は積極的に参加しており，特に球技大会・音楽祭はクラス対抗で，クラスが一丸となり熱心に練習に取り組み，行事を盛り上げています。

部活動では，空手道部が8年連続全国大会出場，陸上競技部が走り幅跳びで全国大会出場，弓道部（少年女子）が国体出場，写真部が全国大会出場，吹奏楽部が東北大会金賞受賞など，生徒は熱心に練習に取り組んでいます。

進路状況は，大学・専門学校・就職と多様であり，着実に実績を上げております。

平成27年度には石巻市立女子商業高校と統合し，宮城県の公立高校で唯一の女子校が誕生します。地域社会の将来を担い，社会人として活躍できる生徒を育成すべく，今後とも魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

→ <ホームページはこちら> <http://www.mediaship.ne.jp/~hsishig/>
(臨時HP)
<http://blog.livedoor.jp/ishinomakigh/>

■ 2 コラム ■

高等学校の校長先生，一般の先生，生徒代表などが，「我が校」に対する想い，最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 石巻西高等学校 生徒会長 鈴木 亜紀
| <学校紹介>

石巻西高校は「文武両道」という目標のもと，学習や部活動に日々励んでいます。部活動と学習を両立することは大変なことです，熱心な先生方の指導のおかげで，それぞれの目標達成に向かい，充実した学校生活を送っています。また，日々の生活だけではなく，西翔祭をはじめ，体育大会の行事では，クラスや学年の幅を超え学校全体で協力し，素晴らしいものを作り上げています。その他にも本校では国際理解の学習に力を入れており，海外で活躍されている方のお話を聞く機会があります。先日は，フィリピンから来日している学生との交流もありました。日本だけではなく世界の現状を理解することは，国際化が進む今，とても大切なことなので，すごく勉強になります。

3月に起きた震災の影響で，未だに大変な中で生活している人もいますが，たくさんの方々の支援のおかげで，少しずつではありますが復興していると感じます。これからは私たちが復興へ向けて精一杯頑張らなければいけません。高校での時間を大切に，多くのことを学んで，卒業後はその力を活かしていきたいと思います。

→ <ホームページはこちら> <http://www.inisi.myswan.ne.jp/>

□ 石巻北高等学校 農業科3年 高橋 里奈
| <最後の農業科卒業生として思うこと>

私は3年前，宮城県河南高等学校農業科に入学しました。農業科に入った理由は，将来花屋で働きたいと考え，花の名前を覚えるだけでなく，植物の育て方や植物の性質を学びたいと思ったからです。入学後すぐに初めての田植えを体験しました。裸足で田んぼに入ると深くなればなるほど，冷たい泥の感触がして，その時「農業をしているんだ」と実感しました。田植えの実習の他にも「草花」・「野菜」の実習や「情報処理」，「バイオ」などがあって，一言で農業と言っても色々あることを学びながら知りました。2年生になってからは，どの実習にも慣れて，作業もスムーズに行えるようになりました。しかしその反面，毎日同じ作業をすることに飽きてきていました。どうして同じことしかしないのかとっていると，先生が「同じことの繰り返しが大切だ」と教えてくださいました。小まめに薬を散布することで病害虫を防ぎ，丁寧に草取りをすることで環境を整えて成長を促してあげる…ちょっと面倒と思うことをすると，花や野菜はよく育つんだと体験的に感じました。そして，3年生になった今では作物専攻班として，誇りをもち農業実習をしています。

このように3年間農業を学んできて思ったことがあります。農業は「人」と「食」を支える大事な営みということです。今回の大震災でも，このことを感じた人は沢山いると思います。私自身も津波から間一髪で逃れ，避難していた時，農家の人達が育てた野菜やお米に救われました。食べ物を作ることは簡単なことではありませんが，私達が生きていく上で大事なことです。石巻北高農業科としては，今年が最

後ですが、農業の難しさや楽しさ、素晴らしさを多くの人に伝えていければと思っています。

→ <ホームページはこちら> <http://ishikita.myswan.ne.jp/>

□ 迫桜高等学校 主査（学校司書） 佐藤 順子
| <大空へ!>

今年も校舎上を大きな白い鳥が飛ぶ季節となりました。

迫桜高校の校鳥でもある「白鳥」です。校章にも未来にはばたく白鳥＝生徒の姿として表されています。

みなさん白鳥のような大型の鳥がなぜV字型などの編隊飛行をするか知っていますか？大型の鳥が飛ぶと翼の先端から後方に渦状の乱気流が発生します。その乱気流に上向きの気流があるため、後ろを飛ぶ鳥はその気流に乗るとエネルギーの消耗が少なくて済みます。それで、V字や斜め一列につながった編隊飛行をするそうです。

最も先頭を飛ぶ鳥はエネルギーの消耗が大きくて疲れるため、時々、後方の鳥と位置を交代しています。先頭を飛ぶのは決してリーダーではないそうです。

さて、本校は単位制総合学科の高校です。色々な進路希望に対応出来るよう、人文・自然・福祉・情報・自動車・土木・農業の系列と多くの選択科目があります。生徒が、主体的に個性に応じた進路計画を立て、科目選択をします。また、各種検定により様々な資格を取得し、自分の将来へとつなげていきます。

自分の夢に向かい学校生活を送る迫桜生の姿は、白鳥が飛ぶ姿と重なります。

時には先頭にたち、時には友だちに、先生に、助けられ、励まされ、そして時には羽を休めて、それぞれの目標に向かって飛んでいきます。

迫桜生のみなさん、これから迫桜生になるみなさん

「夢 はばたけ未来へ!」

→ <ホームページはこちら> <http://www.hakuou.myswan.ne.jp>

■ 3 編集後記 ■

今回のメルマガも、各高校からの情報が満載です。秋も深まり、中学生の皆さんにとって、どの高校を選ぶか、最も悩む時期だと思います。高校教育課では、中学生の皆さんの夢の実現のために、これからも各学校のホットな情報を提供していきたいと考えております。

「高校教育課 情報メール」をよろしくお願いします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
